

# DATA FILE

## 関連事項 / DATA

一般社団法人 農業開発研修センター  
〒601-8585  
京都市南区東9条西山王町1  
☎ 075 (748) 0703

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構  
北方建築総合研究所  
〒078-8801  
旭川市緑が丘東1条3丁目1-20  
☎ 0166 (66) 4211

北海道大学大学院農学研究院  
〒060-8589  
札幌市北区北9条西9丁目  
☎ 011 (716) 2111 (代表)

北海道新十津川農業高等学校  
〒073-1103  
樺戸郡新十津川町字中央13番地  
☎ 0125 (76) 2621

新篠津村役場  
〒068-1192  
石狩郡新篠津村第47線北13番地  
☎ 0126 (57) 2111

新篠津村農業協同組合  
〒068-1193  
石狩郡新篠津村第47線北13番地  
☎ 0126 (57) 2311

一般社団法人 北海道地域農業研究所  
〒060-0806  
札幌市北区北6条西1丁目4番地2  
☎ 011 (757) 0022  
Fax 011 (757) 3111  
HP : <https://www.chiikinouken.or.jp>  
E-mail : [office47@chiikinouken.or.jp](mailto:office47@chiikinouken.or.jp)

関西出身の方からとてもびっくりされたものだ。ずいぶん不思議がられ、そしてうらやましがられたが、北海道のほとんどの人にとっては、年越しそばと普通の食事だけで過ごす大晦日こそ想像できない景色であ

## 編集後記

◆コロナという単語だけでビクッとしていたが、この

二年の間、毎日聞いているうちにすっかりただのニュース感覚となり、全く慣れとは恐ろしいものである。それほどまでにウイズコロナとなってしまった。二年が明け本年は寅年である。二年前の子年の初頭からねずみ

算式に国内でのコロナ感染が急拡大し、丑年であった昨年の終わり頃には、牛歩の如くその波も鈍化した。寅年は、一説に成長に溢れる年とも言われている。これまでの閉塞感を振り払い、日本全体が活気に溢れていく姿を期待したい。

◆なかなか外出もできないので、家庭内でちょっと贅沢な食

事を囲み、プチ外食気分を味わうスタイルが増えているようだ。お祝い事などのご馳走は外食というのが一般化してきているが、まるで一昔前の生活様式に戻ったようでもある。

ご馳走といえば、北海道の大晦日は、年越しそばに加え和洋中盛り込んだ豪華なオードブルやお寿司が並ぶことに、関東や

ろう。北海道では、大晦日に新年を迎える「年取り膳」を食べる風習が残ったことが由来のようである。どのように生活様式が変わることがあっても、この北海道スタイルともいえる大晦日のご馳走風景は残し続けたいものである。

(片岡 省二)